

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 TAIPOL ® SEBS-6150, SEBS-6151, SEBS-6152, SEBS-6153, SEBS-6154, SEBS-6152P, SEBS-6159

供給者の会社名称, 住所及び電話番号

製造元

TSRC Corporation
いいえ.2, Singgong Rd., Dashe Dist., Kaohsiung City 815
Taiwan R.O.C.

電話番号

+886-7-3513811

メールアドレス

tpe.msds@tsrc-global.com

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途

足の裏、接着剤、ホットメルト接着剤、プラスチック改質、アスファルト改質。

使用上の制限

-

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS 分類

GHS分類基準に該当しない。

GHS ラベル要素

絵表示

なし。

注意喚起語

なし。

危険有害性情報

混合物は分類基準を満たしていない。

注意書き

安全対策

産業衛生に気を配る。

応急措置

取り扱った後、手を洗うこと。

保管

避けるべき物質の近くに保管しない。

廃棄

廃棄物および残渣の処理は地方自治体の規制に従う。

GHS 分類に関係しない又はGHS
で扱われない他の危険有害性

知見なし。

重要な徴候及び想定される非常事態の概要

重要な徴候

眼および粘膜の刺激。 鼻と喉の刺激。

非常事態の概要

健康危険有害性に対して分類されていない。しかし、混合物または物質に対する職業被ばくは有害健康作用を引き起こすおそれがある。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分	CAS番号	官報公示整理番号		含有量 (%)
		化審法	安衛法	
水素添加スチレン/ブタジエンコポリマー	66070-58-4	(6)-136	(6)-136	> 98
Anticaking Agent	Proprietary	Proprietary	Proprietary	0.1 - < 2

化学式

(C8H8.C4H6)_x (66070-58-4)

組成情報

成分がガスでない限り、全ての濃度は重量パーセントである。ガス濃度は容量パーセントである。リストに記載されていない成分は、非危険有害性であるか、報告義務限度未満のいずれかである。

4. 応急措置

吸入した場合

症状が起こったなら、空気の新鮮な場所に移動すること。症状が継続する場合は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

大量の水で皮膚を洗い流すこと。高温の物に接触した場合は、熱を放散させるために、直ちに皮膚の受傷部を大量の冷水に浸し、熱傷の拡大を抑えること。皮膚からポリマーを剥がさない。

眼に入った場合

目を擦ってはならない。予防措置として、水で眼を洗浄する。刺激が強まったり続いたりする場合は、医師の診察を受ける。溶融した物質が眼に接触した場合、最低15分大量の水で流す。

飲み込んだ場合

被災者の口の中を水でよく洗ってください。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

眼および粘膜の刺激。 鼻と喉の刺激。

応急措置をする者の保護に必要な注意事項

救助者は、救助の最中、自身の危険にも注意する。

医師に対する特別な注意事項

症状にあった治療を施す。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水の噴霧、泡、ドライパウダーまたは二酸化炭素。

使ってはならない消火剤	なし。
火災時の特有の危険有害性	熱分解により煙、炭素酸化物、および組成が不特定の低分子有機化合物を生成することがある。
特有の消火方法	危険を伴わずに出来る場合には、容器を火災現場から移動させる。火が消えてからもしばらくの間大量の水で容器を冷やす。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	火災の際は自給式呼吸器および全身保護衣を着用しなければならない。消火作業のための呼吸用保護具の選択：作業現場に示されている一般的な火災注意事項に従う。
一般的な火災の危険性	製品は可燃性ではありません。火災にまきこまれた場合は燃焼する。本物質は粉塵を形成し、電気火花（着火源）の原因となる静電荷を蓄積する可能性がある。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	溶融物質からの煙霧を吸入しないようにしてください。こぼれた後は、表面が滑りやすくなっている恐れがあります。適切な保護具を着用する。人体の保護具については第8項を参照。
環境に対する注意事項	安全を確認してから、もれやこぼれを止める。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	シャベルでかき集め、リサイクルまたは廃棄用の適切な容器に入れること。溶けた材料を自然に凝固させる。廃棄物処理については本SDS第13項を参照。
二次災害の防止策	粉塵の生成を避ける。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策（局所排気、全体換気等）	適切な換気を行う。本製品は粉塵を形成するおそれがあり、静電気を蓄積することがある。このため、電気火花（引火源）を発生させるおそれがある。適切な接地手順に従うこと。静電気の放電防止策を施す。
安全取扱注意事項	
接触回避	熱い物質との接触を避ける。粉塵の吸入および皮膚、眼との接触を避ける。
衛生対策	正しい産業衛生と安全規定に従って取扱う。
保管	
安全な保管条件	涼しい、乾燥した、換気の良い場所に保管すること。混触禁止物質から離して保管すること（セクション10を参照）。熱、火花、裸火から離して保管する。本物質は静電荷を蓄積し、火花を発生し着火源となる恐れがある。一般的な接続及び接地技術を使って、静電荷の蓄積を防止する。
安全な容器包装材料	元の容器に保管する。
8. ばく露防止及び保護措置	
許容濃度等	標準監視手順に従ってください。
暴露限界値	含有成分に関して暴露限界は設定されていない。
設備対策	職業暴露限界値を守り、粉塵および煙の吸入のリスクを最小限に抑える。粉塵/空気の濃度が高くなる可能性がある場合は、防爆設備を使用する。
保護具	
呼吸用保護具	換気が十分でない場合、または粉じんを吸入してしまう危険がある場合、適切な防じんフィルタ付き呼吸用保護具を使用すること。換気が不適切な場合または製品が加熱される場合は、有機ガス用防毒マスクを使用する。
手の保護具	製品を加熱する場合は火傷を防ぐために手袋を着用すること。
眼、顔面の保護具	物質に接触する可能性がある場合、安全メガネとフェイスシールドが望ましい。溶融した物質を扱うときはフェイスシールドを着用する。
皮膚及び身体の保護具	通常の作業服（長袖のシャツと長ズボン）をお勧めします。溶融生成物は、熱傷から保護するためにゴムの断熱性手袋及び着衣を必要に応じて着用してください。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	固体。
形状	固体。（6150, 6151, 6153, 6154, 6152P, 6159-粉末, 6152-ペレット）。
色	白色。
臭い	無臭。
融点/凝固点	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし。
可燃性	該当しない。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	
爆発限界-下限	データなし。
爆発限界-上限	データなし。
引火点	データなし。
自然発火点	データなし。
分解温度	データなし。
pH	該当しない。
動粘性率	データなし。
溶解度	
溶解度（水）	水に不溶。
n-オクタノール/水分配係数（log 値）	データなし。
蒸気圧	該当しない。

密度及び／又は相対密度

密度	データなし。
相対ガス密度	該当しない。
粒子特性	データなし。
その他の情報	
爆発性状	爆発物でない。
酸化能力	酸化性でない。
粘度（粘性率）	該当しない。

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の条件では安定。
化学的安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	危険有害性の重合は発生しない。
避けるべき条件	高温。粉塵の生成を避ける。
混触危険物質	強酸化剤。
危険有害な分解生成物	本生成物は分解後、一酸化炭素、二酸化炭素及び / または低分子量の炭化水素を放出します。

11. 有害性情報

急性毒性 粉塵は気道、皮膚、眼を刺激することがある。

成分	種	試験結果
Anticaking Agent	(CAS Proprietary)	
急性吸入粉塵		
LC50	ラット	> 0.14 mg/l, 4 時間
経口		
LD50	ラット	> 3300 mg/kg
経皮		
LD50	ウサギ	> 5000 mg/kg, 24 時間
皮膚腐食性／刺激性	溶融した物質に触れると、火傷することがある。	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	機械的摩擦により刺激がおきることがある。	
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	区分に該当しない。	
皮膚感作性	区分に該当しない。	
生殖細胞変異毒性	本製品あるいは製品中に0.1%以上含有する成分に変異原性または遺伝子毒性があることを示すデータはない。	
発がん性	区分に該当しない。	
IARC発がん性評価モノグラフ		
Anticaking Agent	(CAS Proprietary)	3 ヒトへの発がん性を分類できない。
生殖毒性	区分に該当しない。	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし。	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	データなし。	
誤えん有害性	区分に該当しない。	
その他の情報	長期間にわたる頻繁な粉塵の吸入は肺疾患を引き起こすリスクを増大させる。加熱時に生ずる蒸気・ヒュームは、気道を刺激することがある。	

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は環境に有害であるとは分類されていない。しかし、大量の流出や繰り返しの流出が環境に有害な影響を及ぼさないとは限らない。
残留性・分解性	データなし。
生態蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データなし。
他の有害影響	その他の環境悪影響（例、オゾン層破壊、光化学オゾン生成可能性、内分泌かく乱、地球温暖化の可能性）は、これらの成分からは予想されない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	適用される全ての法規に準拠して廃棄しなければならない。
汚染容器及び包装	空の容器は、リサイクルまたは廃棄のために、承認された廃棄物処理施設に運ばなければならない。

地域の廃棄規制

現地の規定に従い、処分する。産業廃棄物処理業の許可を受けた業者に産業廃棄物管理票（マニフェスト）を添えて処理を委託する。回収して再生するか、許可を受けた廃棄物処理場で、密封された容器に納めて廃棄する。

14. 輸送上の注意

IATA

危険物には該当しない。

IMDG

危険物には該当しない。

MARPOL73/78 附属書II 及びIBC 該当しない。

コードによるばら積み輸送される

液体物質

国内規制

国内輸送については15章の規制に従うこと。

15. 適用法令

労働安全衛生法

通知対象物

該当せず。

表示対象物

該当せず。

毒物及び劇物取締法

特定毒物

該当せず。

毒物

該当せず。

劇物

該当せず。

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

第一種特定化学物質

該当せず。

第二種特定化学物質

該当せず。

監視化学物質

該当せず。

優先評価化学物質

該当せず。

化学物質排出把握管理促進法

特定第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第一種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

第二種指定化学物質(物質名、政令番号、含量)

該当せず。

消防法

指定可燃物（合成樹脂類 - その他のもの）（許容容量：3000 kg）

船舶安全法・危規則

該当せず。

航空法・施行規則

該当せず。

火薬類取締法

該当せず。

16. その他の情報

引用文献

ACGIH Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices

EPA：データベースを入手

IARC発がん性評価モノグラフ

HSDB® - Hazardous Substances Data Bank

National Toxicology Program (NTP) Report on Carcinogens

NLM：有害物質データベース

日本化学工業協会GHS対応ガイドライン、平成20年10月

日本産業衛生学会、許容濃度等の勧告

JIS Z 7253：2019 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

JIS Z 7252：2019 GHSに基づく化学品の分類方法

制限保証

本契約に従って販売される製品が出荷日の時点で販売者の標準的な販売仕様を満たしていることを除き、単体での使用か、他の物質との併用か、何らかのプロセスでの使用かにかかわらず、特定の使用に対する適合性についても、市場性についても、製品に関する他の事項についても、明示的あるいは黙示的にかかわらず、本契約書に記載する製品説明の範囲を超える保証は一切行われなないものとする。前項の内容を制限することなく、販売者は、製品のいかなる医療用途への使用についても、推奨も是認もせず、特に、製品のいかなる医療用途への使用に関して、明示的あるいは黙示的にかかわらず、適合性についても、使用品質についても、その他についても、いかなる表明も保証も否認する。購入者は、本契約書に基づき購入した製品が、販売者による事前の明白な文書による了承なしに、医療用途に関していかなる商業取引にも開発用の取引にも、使用も転売もされないことを表明し確約し、更に、購入者は、本契約書に基づき購入した製品の何らかの医療用途への使用について、販売者が推奨または是認している旨の如何なる表明も、明示的あるいは黙示的にかかわらず、一切行わないことに合意する。

本製品は、優良産業衛生規範及び全ての法的規制に従って保管、取扱い、使用しなければならない。報告されている危険有害性が作業場又は他の環境におけるリスクであるかは、多くの要因によって決定される。リスクは、ばく露シナリオを参照して判定できる可能性がある。使用規模、使用頻度、及び現在使用中又は使用可能な工学的管理を考慮しなければならない。